

令和5年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和6年7月

地域社会振興部県民参画協働課

組織改正に伴い業務を引き継いだ機関

地域社会振興部県民課

輝く鳥取創造本部とっとり暮らし推進局協働参画課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	2 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	決算資料	9 頁
7	事業別実施状況調べ	10 頁
8	予備費の充用調べ	14 頁
9	現金の取扱状況	15 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	15 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	16 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	16 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	16 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	16 頁
15	備品の処分状況調べ	16 頁
16	貸付金等状況調べ	16 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	16 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項

該当なし

(2) 指摘事項

該当なし

(3) 監査意見

該当なし

(4) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(県民参画協働課→県民課)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
		6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	
定員		8	18					8	18	
現員		(3) 7	(4) 17	( )	( )	( )	( )	(3) 7	(4) 17	育休1人(R5)、 派遣職員3人 (派遣元：ナレッジサポート)
過不足(△)		△1	△1					△1	△1	
臨時的 任用職員		0	0					0	0	
会計年度 任用職員		3	2					3	2	不当要求行為等 対策専門員1人、 事務補助2人

(協働参画課)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
		6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	6.4.1 現在	5.8.1 現在	
定員		10	0					10	0	
現員		(0) 10	(0) 0	( )	( )	( )	( )	(0) 10	(0) 0	
過不足(△)		0	0					0	0	
臨時的 任用職員		0	0					0	0	
会計年度 任用職員		0	0					0	0	

4 役付職員の調べ

県民課

(令和6年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
課長	中島 始子	年 0	月 11	
課長補佐	栗本 明子	2	3	
課長補佐	片山 博紀	2	3	
課長補佐	森 直樹	1	2	
課長補佐	横川 弘美	0	11	

協働参画課

(令和6年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
課長	足立 多恵子	年 0	月 3	
課長補佐	金田 健志	0	3	
課長補佐	福田 雄一朗	0	3	
課長補佐	船石 恵子	0	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳																									
		国庫支出金	起債	その他	一般財源																						
県民参画推進事業	3,640				3,640																						
将来ビジョン	—																										
令和新时代創生戦略	SDGsゴール (17 パートナースhipで目標を達成しよう)																										
政策項目	—																										
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>地方自治の原点として制定した県民参画基本条例（平成25年制定）の基本理念に基づき、多様化する県民の意見を県政に取り入れることで、県民と県が連携し、協力する関係を築き、鳥取県ならではの県民の参加と協働による民主的で公正な県政を実現する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 県民の声推進費</p> <p>県政に対する提言、要望、苦情等を広く県民から募集し、行政への県民参画を推進するとともに、県民からの提案、意見を積極的に施策に反映した。</p> <p>【令和5年度の受付件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受付件数</th> <th>意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,248 件</td> <td>2,057 件（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの 42 件）</td> </tr> <tr> <td>（前年度 1,767 件）</td> <td>（前年度 2,948 件）（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの 865 件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受付件数：電話、電子メール、郵便等で意見、提言等を受け付けた件数。          ※意見数：受け付けた意見、提言等の数。1 件の受付で、複数の意見、提言等が寄せられる場合があるため、受付件数とは一致しない。</p> <p>(2) 広聴実施事業</p> <p>ア パブリックコメント・県政参画電子アンケート等</p> <p>県の主要施策や重要な条例等の立案にあたり、趣旨や内容を広く県民に公表して意見を求めるほか、登録会員に対してインターネットを利用したアンケート調査等を実施して県民の意向を速やかに把握するとともに、県民の県政参画を促進した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>パブリックコメント</th> <th>電子アンケート</th> <th>県民意識調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>30 件（前年度 17 件）</td> <td>12 件（前年度 10 件）</td> <td>1 件（前年度 1 件）</td> </tr> <tr> <td>意見等状況</td> <td>意見件数 1,549 件 （前年度 470 件）</td> <td>平均回答率 56.6% （前年度 59.3%）</td> <td>回収率 56.9% （1,706 / 3,000）</td> </tr> <tr> <td>主な実施テーマ</td> <td>・鳥取県学校教育DX推進計画案</td> <td>・新型コロナウイルス感染症</td> <td>・重点施策への関心・認識 ：空き家対策</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 出前説明会</p> <p>県が重点的に取り組んでいる事業や県民の関心が高い課題などについて、県職員が県民の集会等に出向いて説明し、県民の県政に対する理解の促進を図るとともに、県民の生の声を聴いて施策に反映させた。（実施テーマ数：264、156 回開催、参加者のべ 6,372 人）</p> <p>(3) 県政モニタリング事業</p> <p>「人口減少対策について」をテーマに県政モニターから「県民目線・県民感覚」による意見・提案等をいただき、担当所属において次年度の予算要求や事業実施に反映させた。</p> <p>3 事業成果（改善状況）・課題等</p> <p>(1) 事業目標</p> <p>広聴機能を充実し、県民の参画による県政を推進する。</p> <p>(2) 成果</p> <p>ア 県民の声推進費</p> <p>令和4年12月から令和5年11月に寄せられた意見、提言等について、令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算で13事業に反映した。また、予算以外に56件の施策が改善された。          [予算への反映(例)]</p>						受付件数	意見数	1,248 件	2,057 件（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの 42 件）	（前年度 1,767 件）	（前年度 2,948 件）（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの 865 件）	項目	パブリックコメント	電子アンケート	県民意識調査	実施件数	30 件（前年度 17 件）	12 件（前年度 10 件）	1 件（前年度 1 件）	意見等状況	意見件数 1,549 件 （前年度 470 件）	平均回答率 56.6% （前年度 59.3%）	回収率 56.9% （1,706 / 3,000）	主な実施テーマ	・鳥取県学校教育DX推進計画案	・新型コロナウイルス感染症	・重点施策への関心・認識 ：空き家対策
受付件数	意見数																										
1,248 件	2,057 件（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの 42 件）																										
（前年度 1,767 件）	（前年度 2,948 件）（うち新型コロナウイルス感染症に関するもの 865 件）																										
項目	パブリックコメント	電子アンケート	県民意識調査																								
実施件数	30 件（前年度 17 件）	12 件（前年度 10 件）	1 件（前年度 1 件）																								
意見等状況	意見件数 1,549 件 （前年度 470 件）	平均回答率 56.6% （前年度 59.3%）	回収率 56.9% （1,706 / 3,000）																								
主な実施テーマ	・鳥取県学校教育DX推進計画案	・新型コロナウイルス感染症	・重点施策への関心・認識 ：空き家対策																								

- ・鳥取県小児救急電話 24 時間相談対応事業（令和 6 年 4 月から実施の小児医療費の完全無償化に伴うコンビニ受診等の懸念の払しょく及び小児救急医療体制のひっ迫回避を図るため、「とっとり子ども救急ダイヤル（#8000）」の相談受付時間を 24 時間 365 日に拡充した）

イ 広聴実施事業

（ア）パブリックコメント・県政参画電子アンケート等

パブリックコメントでいただいた意見のうち、194件を政策等に反映した。

（内訳：反映した=194、既に盛り込み済=298、今後の課題=119、対応できない=102、その他=836）

（イ）出前説明会

重点事業や県民の関心が高い課題について直接説明するとともに、参加者と意見を交換し、県民の県政参画を推進することができた。

ウ 県政モニタリング事業

テーマ「人口減少対策について」（モニター 5 名）

〔提案〕IJUターンにつながる都市圏の若者に対する効果的な情報発信と関係人口から移住への取込みを行う。

〔対応〕SNSのフォロワー数が多く発信力のある「とっとりdiaryインフルエンサー」による情報発信や本県の就職情報等を配信するスマートフォンアプリ「とりふる」等を活用し、県外の若者や学生に対し本県の魅力について情報提供を行うことでIJUターンに繋げる。また、移住者の起業を支援するとともに県内の大学等と連携して県内企業を知ってもらう機会を創出するなどして関係人口の取込みを行う。

（3）課題

ア 県民の声推進費

県民の声制度では、寄せられた意見等を真摯に受けとめ県政に活かすべく努めることとしているが、回答内容や匿名意見への対応に対する意見も寄せられていることから、各所属に対して、県民から寄せられる意見の適切な取り扱いについて周知徹底していく必要がある。

イ 広聴実施事業

（ア）パブリックコメント・県政参画電子アンケート等

統計的な信頼度を維持するために必要な電子アンケート会員の確保や県民意識調査の回収率の向上に引き続き取り組み、より多くの県政参画を図る必要がある。

（イ）出前説明会

県が重点的に取り組んでいる事業や課題を幅広くテーマに盛り込み、県民へ直接説明することで当該施策への理解を深めていただくために、オンラインも活用しながら、建設的な意見交換を行い、新たな施策の展開につながる事業にしていく必要がある。

ウ 県政モニタリング事業

改善提案を効果的に事業反映につなげられるよう、県政モニターに検討していただく項目をある程度絞り込み、テーマに関しより密度の高い議論を行うとともにより具体的な提案が得られるようにする。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
とっとり若者活躍推進事業	20,191				20,191
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	大項目 II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (2) 人財とっとり 小項目 ③女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり SDGsゴール (17 パートナリーシップで目標を達成しよう)				
政策項目	III 人・暮らし ④若者が活躍する県政スタイルに向けて、ふるさと教育を進め、若者と共々SNSなど地域の魅力発信等を展開				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>人口減少を前提とした社会において、持続可能な地域の実現のためには、次世代を担う若者がその力を地域で最大限発揮できる仕組みづくりと若者と多様なステークホルダーが連携し具体的な取組を進めていくことが必要であり、これまでに蓄積してきたネットワーク・ノウハウを最大限活用しながら「若者が輝く鳥取県」の実現に取り組む。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) とっとり若者活躍局設置事業</p> <p>次世代を担う若者の自発的かつ自由な発想で、移住定住や出会い・子育て対策などの地域課題解決や地域活性化、地域の魅力発信等の活動を行うことを目的として、県内の高校生から30代を対象に公募で集まったメンバーにより、令和5年8月に「とっとり若者活躍局」を発足した。</p> <p>発足後は、定例会議を月1回程度開催しながら、県への政策提案やメンバー自身が企画・実施するプロジェクト活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー数 36名 (内訳：高校生5名、大学生18名、社会人13名)</li> <li>・主な活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>とっとり未来創造タスクフォースと共同で政策提案会を開催し、若手政策集を提出</li> <li>地域課題解決に向けたプロジェクト活動6件に取り組み、その成果について報告会を開催</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 若者活躍支援事業</p> <p>ア サステナブルとっとり甲子園事業</p> <p>若者主体の持続可能な地域づくり活動プラン(要件：3つ以上のSDGsのゴールへの貢献)を募集し、県政参画電子アンケートを活用した「レッツ、サステナブル! とっとりユースアイデアオーディション」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募件数 15件、選定件数 10件</li> <li>※選定されたプランに対する補助事業(補助率：10/10、補助上限：300千円+クラウドファンディング手数料)は令和6年度に繰り越して実施</li> </ul> <p>イ 若者チャレンジ支援事業</p> <p>若者の主体的活動の促進及び若者が地域で活躍する鳥取らしい持続可能な地域づくりに繋げていくため、若者による新規・試行的な地域づくり活動等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容 補助率：10/10、補助上限：150千円(クラウドファンディング手数料は別途)</li> <li>・応募件数 5件、採択件数 3件</li> </ul> <p>(3) 若者の活躍で地域を元気にする事業</p> <p>地域で活動する若者の裾野拡大を目指すため、地域づくり団体等と地域づくり活動のきっかけがない大学生とのマッチングを行い、交通費を助成して大学生を地域活動に送り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した地域活動メニュー 8件</li> <li>・マッチングした学生数 25名</li> </ul>					

(4) 「SDGs×デジタル」地方創生DXラボ事業

県及び慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の共催により、大学の知的活動の本質を体験する「未来構想キャンプ」を県内で開催し、「ヘルスケア×デジタル技術」をテーマとした地域課題解決手法の調査研究、実証(フィールドワークやワークショップなど)を実施した。

キャンプ実施後は慶應義塾大学学生が日南町を再訪問して実証実験を行い、令和6年2月に鳥取市で開催した「とっとり未来共創フォーラム」において、その事例発表や展示を行った。

<未来構想キャンプ2023 in 鳥取(日南町)>

- ・期間 令和5年8月2日(水)から4日(金)まで(2泊3日)
- ・場所 日南町役場、日南病院、日南町健康福祉センターほか町内施設
- ・参加者 高校生15名(うち県内4名、県外11名)  
慶應義塾大学環境情報学部 高汐一紀研究室及び関係者11名 他
- ・発表内容 ロボットを活用した高齢者等の見守り・コミュニケーション支援他3件

3 事業成果(改善状況)・課題等

(1) 成果

ア とっとり若者活躍局設置事業

県内の熱意ある若者世代が一体となって地域活性化や魅力発信等に資するプロジェクトを企画・実施することにより、若者がチャレンジできる機運が醸成された。

政策提案のうち6件が令和6年度当初予算要求事業につながるとともに、2件は予算措置なしで実現した。

イ 若者活躍支援事業

地域で若者が主体となって実施する活動を後押しすることにより、更なる地域活動の輪の拡大につながった。

ウ 若者の活躍で地域を元気にする事業

若者を求める地域に地域づくりに関心のある学生を一定数送り込むことができた。

エ 「SDGs×デジタル」地方創生DXラボ事業

未来構想キャンプで生まれた研究テーマのうち2テーマについては日南町が社会実装を目指すなど、若者提案をきっかけとした受入市町村の地域課題解決に向けた動きが形成された。

(2) 課題

ア とっとり若者活躍局設置事業

広聴活動を取り入れるなどメンバー以外の意見も取り入れた政策提案を行うとともに、より多くの若者も巻き込んだ活動となるよう運用を見直す必要がある。

イ 若者活躍支援事業

持続的な取組とするため、地域の企業・団体等との連携など、様々なステークホルダーへの呼び掛けやマッチングのサポートなどを行う必要がある。

ウ 若者の活躍で地域を元気にする事業

地域づくり活動のきっかけがない学生だけでなく関心のない層の参加につながるよう、取組を工夫する必要がある。

エ 「SDGs×デジタル」地方創生DXラボ事業

未来構想キャンプから生まれた調査研究の成果を横展開するなど、県内他地域に事業実施効果を波及させる必要がある。



(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳											
		国庫支出金	起債	その他	一般財源								
SDGs推進事業	4,080				4,080								
将来ビジョン	SDGsの理念が県民に広く浸透し、県民の参加と協働による環境保全・社会的課題解決・経済活動の好循環などの持続可能な仕組みが確立されている。												
令和新時代創生戦略	大項目 II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (2) 人財とっとり 小項目 ③女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり SDGsゴール (17 パートナーシップで目標を達成しよう)												
政策項目	I ふるさとの元気 ⑫企業、若者、地域、NPO、行政等の連携によるSDGs推進プロジェクトを展開し、安心して持続可能な世界に貢献												
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」の達成に向けた、持続可能な地域社会づくりのため、官民連携ネットワークによるSDGsの普及啓発を行うとともに、子どもたちを含む県民や企業の実践拡大を図る。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) オール鳥取県でのSDGs推進事業</p> <p>ア 官民連携ネットワークの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携組織「とっとりSDGsネットワーク」の構成員が「とっとりSDGsシーズン」中に関連イベントを実施するとともに、若者主体の持続可能な地域づくり活動プランへの投票や鳥取大学でのSDGs表彰への協力など、SDGs実践拡大に連携して取り組んだ。</li> </ul> <p>イ とっとりSDGsパートナー制度の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsパートナー間の相互理解及びSDGs活動のサポートのため、とっとりSDGsパートナー登録団体等に対し、メールマガジンによる情報提供を15回行った。</li> <li>SDGsに積極的に取り組む団体等の活動を「見える化」し横展開を促していくため、取組紹介記事を新聞に49回掲載した。</li> </ul> <p>(2) SDGs普及啓発事業</p> <p>ア とっとりSDGsポータルサイトの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>とっとりSDGsシーズンの情報の掲載や、鳥取県教育ポータルサイトとの連携を行い、広くSDGsの情報を掲載した。</li> </ul> <p>イ とっとりSDGs伝道師・とっとりSDGs子ども伝道師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs普及啓発の核となるSDGsの伝道師により、県内各地の学校や団体等にSDGsの理念の普及や事例紹介等を実施した。</li> <li>学校等でSDGsを学んだ3校を「子ども伝道師」に任命し、地域と積極的に関わる活動など子どもの自律的かつ主体的なSDGsの普及啓発や実践拡大の後押しを行った。</li> </ul> <p>ウ とっとりSDGs子どもアンバサダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「とっとりSDGs子ども伝道師」を対象に、ジャマイカの子どもとの交流や発展途上国の文化や課題などにも触れる機会を提供することで、SDGsの本質を知り、自身の環境を見つめ直す機会を提供した。</li> </ul> <p>3 事業成果 (改善状況)・課題等</p> <p>(1) 成果</p> <p>とっとりSDGsパートナーの登録件数が目標値を大幅に上回ったほか、SDGsフェスタへの出展により、SDGsの理解促進、実践拡大につながった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業目標</th> <th>目標値 (期間)</th> <th>実績 (期間)</th> <th>前年 (期間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とっとりSDGsパートナー登録数 (累計)</td> <td>500件 (R2~R6)</td> <td>593件 (R2.9~R6.3)</td> <td>557件 (R2.9~R5.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 課題</p> <p>SDGsの実践拡大に向けて、地域課題解決マッチングサイト「とっとりアイデアマーケット」の活用など、多様なステークホルダーの連携・協働につながる取組を進めていく必要がある。</p>						事業目標	目標値 (期間)	実績 (期間)	前年 (期間)	とっとりSDGsパートナー登録数 (累計)	500件 (R2~R6)	593件 (R2.9~R6.3)	557件 (R2.9~R5.3)
事業目標	目標値 (期間)	実績 (期間)	前年 (期間)										
とっとりSDGsパートナー登録数 (累計)	500件 (R2~R6)	593件 (R2.9~R6.3)	557件 (R2.9~R5.3)										

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
とっとりSDGsパートナーシップ 加速化事業	5,271				5,271
将来ビジョン	SDGsの理念が県民に広く浸透し、県民の参加と協働による環境保全・社会的課題解決・経済活動の好循環などの持続可能な仕組みが確立されている。				
令和新時代創生戦略	大項目 II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (2) 人財とっとり 小項目 ③女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり SDGsゴール (17 パートナーシップで目標を達成しよう)				
政策項目	I ふるさとの元気 ⑫企業、若者、地域、NPO、行政等の連携によるSDGs推進プロジェクトを展開し、安心して持続可能な世界に貢献				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>令和2年度以降、SDGsの普及啓発、実践拡大の土台となる各種取組を推進することにより、民間調査機関が実施した「地域別SDGs評価」で3年連続都道府県1位になるなど、SDGsの理念と実践は着実に本県に根付きつつある。令和4年度にはSDGs未来都市にも選定され、地域におけるSDGs達成に向けて、これまでに構築した土台を強化・発展させるとともに、SDGsの達成に不可欠となるパートナーシップによる取組を更に加速させる。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) とっとりSDGsシーズン2023</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「サステナブルな未来かがやく、とっとりSDGs」をテーマとし、鳥取発のSDGs普及啓発・実践強化期間「とっとりSDGsシーズン2023」を10月から12月の期間に開催した。10月にはシーズン初の対面でのオープニングイベントを実施した。</li> <li>イベントでは、「とっとりSDGs子ども伝道師」の任命式・活動報告や、SDGs伝道師によるSDGs講座、とっとりSDGsネットワーク構成員やとっとりSDGsパートナー等による体験型の出展ブースなど個人・企業・団体が一体となって、SDGsの更なる普及啓発や実践拡大につながるイベントを実施した。</li> <li>県及び県内市町村で構成する「とっとりSDGs自治体ネットワーク」により、公共施設での展示や広報誌での記事掲載に連携して取り組んだ。</li> </ul> <p>(2) とっとりSDGsビジネスアワード事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs推進のモデルとなる優れた取組を行う企業を表彰する「とっとりSDGsビジネスアワード」を、ビジネスとして持続的な取組であるかなどの評価ポイントをより明確にして実施した。</li> <li>とっとりSDGsパートナーを中心に17事業者から応募があり、審査会において最優秀賞、特別賞それぞれ1社を選定し、県内企業のモデルとなる優れた取組として「とっとり元気フェス」で表彰するとともに、取組紹介動画や新聞特集記事等により取組の発信を行った。</li> </ul> <p>3 事業成果（改善状況）・課題等</p> <p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業・団体等によるSDGsオープニングイベントへの出展やシーズン連携イベントを集中的に実施することで、SDGsの実践拡大に向けた機運を醸成した。</li> <li>身近な企業や団体の取組をSDGsのゴールと紐づけを行い、発信を行うことで、それぞれが取組を見つめ直す機会となったほか、表彰及び新聞の特集記事や取組紹介動画等による発信を行うことにより、他の企業へ横展開や実践拡大に加えて、県民のSDGsの理解促進につながった。</li> </ul> <p>(2) 課題</p> <p>SDGsの実践拡大に向けて、地域課題解決マッチングサイト「とっとりアイデアマーケット」の活用などパートナーを含めた多様なステークホルダーの連携・協働に繋がる取組を進めていく必要がある。</p>					

## 6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務手数料	1,191,000	0	0	1,191,000	3,060	3,060	0	0	
	総務費国庫補助金	8,067,000	2,750,000	0	10,817,000	2,750,000	2,750,000	0	0	
	利子及び配当金	1,000	0	0	1,000	1,350	1,350	0	0	
	物品売払収入	250,000	0	0	250,000	41,590	41,590	0	0	
	総務費寄附金	45,910,000	△23,020,000	0	22,890,000	10,480,420	10,480,420	0	0	
	個人情報保護審査会 事務受託事業収入	239,000	0	0	239,000	0	0	0	0	
	雑入	118,000	0	0	118,000	69,205	60,750	0	8,455	過年度に係る 収入未済額
合 計	55,776,000	△20,270,000	0	35,506,000	13,345,625	13,337,170	0	8,455		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	一般管理費	13,263,000	0	0	0	13,263,000	13,263,000	13,263,000	0	0	0	
	広報費	16,942,000	△2,295,000	0	△164,000	14,483,000	13,140,258	13,140,258	0	0	1,342,742	
	文書費	2,030,000	0	0	164,000	2,194,000	565,852	565,852	0	0	1,628,148	
	計画調査費	153,617,000	10,367,000	0	0	163,984,000	133,559,496	128,868,756	4,690,740	3,374,000	27,050,504	
	労政総務費	8,806,000	0	0	0	8,806,000	8,806,000	8,806,000	0	0	0	
	合 計	194,658,000	8,072,000	0	0	202,730,000	169,334,606	164,643,866	4,690,740	3,374,000	30,021,394	

## 7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						計 A
(一般管理費) 県民参画協働 課管理運営費	13,263,000	0	0	0	13,263,000	13,263,000	0	0	100%	・ 県民参画協働課の予算・決算業務や連絡調整が必要な業務を実施した。
目 計	13,263,000	0	0	0	13,263,000	13,263,000	0	0	100%	
(広報費) 総合受付等運 営費	8,315,000	0	0	0	8,315,000	7,773,790	0	541,210	93%	・ 総合受付案内窓口において、県庁を訪れる方に対する所管所属等の案内、代表電話の取次ぎ等を実施した。
(主) 県民参 画推進事業	6,663,000	△2,295,000	0	△164,000	4,204,000	3,639,468	0	564,532	87%	・ 主な事業に関する調べのとおり ・ 164,000円は情報公開・個人情報保護制度実施事業へ流用
デジタルサー ビスを活用し た多様な県民 の声発掘事業	1,964,000	0	0	0	1,964,000	1,727,000	0	237,000	88%	・ X(旧ツイッター)上の県民の投稿を分析し、特定の県政テーマに関し有効な県民ニーズの把握が可能か検証した。
目 計	16,942,000	△2,295,000	0	△164,000	14,483,000	13,140,258	0	1,342,742	91%	
(文書費) 情報公開・個 人情報保護制 度実施事業	1,530,000	0	0	164,000	1,694,000	351,600	0	1,342,400	21%	・ 公文書の開示、個人情報の流出防止対策等を実施した。

個人情報保護 審査会諸費	500,000	0	0	0	500,000	214,252	0	285,748	43%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・164,000円は県民参画推進事業から流用。</li> <li>・「行政機関等匿名加工情報」に関する提案募集に応募がなかったため不用額が生じた。</li> <li>・個人情報保護審査会を開催し、審査請求の審議、答申を行った。</li> <li>・事務受託している市町村に係る案件がなかったため不用額が生じた。(県：市町村＝1：1)</li> </ul>
目 計	2,030,000	0	0	164,000	2,194,000	565,852	0	1,628,148	26%	
(計画調査費) 令和新時代創 造県民運動推 進事業	13,435,000	△954,000	0	0	12,481,000	11,200,714	0	1,280,286	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化を一層進めるため、地域づくり団体を取り組む新規・試行的な活動や発展的な取組を支援するとともに、優良事例を表彰した。</li> </ul>
とっとり県民 の日総合推進 事業	1,105,000	0	0	0	1,105,000	1,056,104	0	48,896	96%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと講師を小学校や公民館に派遣するとともに、学校における一斉取組の実施、大型商業施設やスーパーマーケットでのPRイベント等を開催した。</li> </ul>
(主)とっとり 若者活躍推 進事業	0	26,648,000	0	0	26,648,000	20,190,937	3,374,000	3,083,063	76%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業に関する調べのとおりに</li> <li>・若者活躍支援事業(サステナブルとっとり甲子園事</li> </ul>

とっとり県民活動活性化センター事業	62,933,000	0	0	0	62,933,000	60,435,067	0	2,497,933	96%	<p>業)について、令和5年度中に若者の地域づくりプランの公募及び優良プランの選定を実施し、選定されたプランの実現に向けたブラッシュアップ及び補助事業を令和6年度に実施するため翌年度へ繰り越した。</p> <p>・(公財)とっとり県民活動活性化センターに地域づくり、NPO活動、ボランティア活動に係る支援業務の委託・補助を行った。</p>
公民連携推進事業	10,674,000	△2,000,000	0	0	8,674,000	6,535,203	0	2,138,797	75%	<p>・鳥取県公民連携推進事業補助金審査・検証委員会等にて採択された6団体に対し補助を行い、官民協働で計画策定4件及び事業実施2件を行った。</p>
持続可能な地域づくり団体支援事業(ギフト鳥)	44,648,000	△20,111,000	0	0	24,537,000	11,848,063	0	12,688,937	48%	<p>・地域づくり団体の支援者が個別の団体を指定して、ふるさと納税の方法により寄附できる仕組みを作り、寄附額の4/5を当該団体に交付した。</p> <p>・寄附者からの寄附を原資として団体に寄附金を交付する仕組みであり、年明け以降の寄附にも対応できるようにしていたところ結果と</p>

県政推進費	386,000	△252,000	0	0	134,000	133,580	0	420	100%	<p>して寄附が得られなかったため不用額が発生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナー県政推進会議 県政への県民意見の反映等について議論することを目的として、知事、部長と県政委員の出席により「地域の活力による「輝くふるさと鳥取」づくり」をテーマとして会議を開催した。</li> <li>・伸びのびトーク 県民（住民、NPO法人、経済団体、地域活性化等）に取り組む団体等）と行政関係者等が、その地域が直面する課題などについて意見交換を行う会議を3町（日野町、三朝町、湯梨浜町）で開催した。</li> </ul>
(主) SDGs 推進事業	8,337,000	0	0	△930,000	7,407,000	4,079,813	0	3,327,187	55%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業に関する調べのとおりに</li> <li>・930,000円はとっとりSDGsパートナーシップ加速化事業へ流用</li> <li>・とっとりSDGs伝道師の活動が県内に周知され、個別に講演などを依頼するケースも出てきているなど、SDGs伝道師制度の活用が民間企業を中心に減少したことにより、講師報償費・旅費、講師派遣の調整等に係る人</li> </ul>

(主) とっとりSDGsパートナーシップ加速化事業	4,860,000	0	0	930,000	5,790,000	5,270,570	0	519,430	91%	件費が減額となったため不用額が発生した。
みんなでやろう！SDGs実践応援事業	0	7,036,000	0	0	7,036,000	6,740,017	0	295,983	96%	・主な事業に関する調べのとおり ・930,000円はSDGs推進事業から流用。
地域共生社会の未来を創る人材育成事業	7,239,000	0	0	0	7,239,000	6,069,428	0	1,169,572	84%	・SDGsに関する活動の実践に対するポイント付与事業を通じて、本県の3つの施策分野における県民の施策への理解及び行動変容を図った。
目 計	153,617,000	10,367,000	0	0	163,984,000	133,559,496	3,374,000	27,050,504	81%	・地域で活動する団体や人材の育成を行う「とっとり研志塾」、若者や地域活動団体をつなぐ「とっとり元気フェス」等を実施し、地域の担い手育成を図った。
(労政総務費) シルバー人材センター活性化事業	8,806,000	0	0	0	8,806,000	8,806,000	0	0	100%	・(公社)鳥取県シルバー人材センター連合会の各種事業及び運営経費に対して補助を行った。
目 計	8,806,000	0	0	0	8,806,000	8,806,000	0	0	100%	
合 計	194,658,000	8,072,000	0	0	202,730,000	169,334,606	3,374,000	30,021,394	84%	

8 予備費の充用調べ  
該当なし



9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備 考
総務管理手数料	90	1	保有個人情報開示手数料
物品売払収入	50,190	53	刊行物売払収入(県民参画協働課)、ピンバッジ売払収入(広報課)
雑入	55,980	21	公文書・保有死者情報等複写代金
合 計	106,260	75	

(2) つり銭の状況

(令和6年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	17,800
--------	---	----------	--------

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア～ケ

該当なし

コ 出資による権利

(令和6年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出えん金	円 3,000,000	円 0	円 0	円 3,000,000	公益財団法人とつとり県民活動活性化センター	
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000		

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

① ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和6年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
22 枚	0 枚	0 枚	22 枚
		円	

(3) 基 金

(令和6年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取元気づくり推進基金	円 72,895,766	円 0	円 0	円 72,895,766	
合 計	72,895,766	0	0	72,895,766	

(4) 債 権  
該当なし

1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ  
該当なし

1 2 借受不動産明細調べ  
該当なし

1 3 職員駐車場の管理状況調べ  
該当なし

1 4 寄附物件の受納状況調べ  
該当なし

1 5 備品の処分状況調べ

品 名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考	
			売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売払額		処分費用
液晶カラーテ レビ (三洋電機L CD-30H D3)	H17.6.27	R5.9.13	棄却	経年劣化によ る故障のため	R5.9.25	円	3,232円 (家電リ サイクル 料金等)	
合 計							3,232円	

1 6 貸付金等状況調べ  
該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし